



マルト便

MARUTO INFORMATION

お客様の笑顔のために ... チャレンジ!

maruto-shoji.co.jp

ホームページにバックナンバー掲載中



ごあいさつ

皆さま、こんにちは。

2026年7月28日に熊本県で発生した「令和8年熊本地震」により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。
本格的な夏を迎え、厳しい暑が続く季節となりました。北海道でも、例年であれば作物の生育が最も進む重要な時期を迎えています。
今年はここまで比較的安定した天候に恵まれ、各産地からも順調な生育状況が伝わってきています。
一方で、8月は高温や集中豪雨など、天候が大きく変化しやすい時期でもあります。産地では収穫に向けた管理が本格化しており、今後の天候が秋以降の作柄を左右する重要な局面を迎えます。
今月号も「玉ねぎ」の動向を中心に、8月の野菜市況の見通しをお届けいたします



国産玉ねぎの状況と8月の見通し

7月後半から北海道産玉ねぎの極早生品種の出荷が始まり、8月はいよいよ北海道産が市場の中心となります。
農林水産省の8月見通しによると、兵庫県産主体の出荷から北海道産主体へと切り替わり、北海道産は生育が概ね順調で、大玉傾向となっています。8月の出荷数量・価格ともに、平年並みで推移する見込みです。
私自身も北海道産地の状況を確認していますが、現時点では昨年とは大きく異なり、生育は非常に順調です。適度な降雨と気温に恵まれ、大玉傾向の圃場も多く見受けられます。
昨年は北海道産の大幅な減収により全国的な品不足となりましたが、今年は平年を上回る収穫が期待できる状況です。
もちろん、今後の天候次第では状況が変化する可能性はありますが、現時点では安定供給に向けて良いスタートが切れていると感じています。



輸入玉ねぎの動き

北海道産の本格的な出荷が始まることで、輸入玉ねぎについては、年間供給を補完する役割がより明確になります。
現在の中国産玉ねぎは、品質・価格ともに大きな変動なく推移していますが、北海道産の供給増加に伴い、価格面での優位性は限定的になっています。
一方で、加工用途や年間を通じた安定供給という観点では、引き続き重要な調達先であることに変わりはありません。
今後出回りが始まる中国・甘粛省産の玉ねぎについては、昨年来の相場安を受けて作付面積は減少傾向にあるものの、生育は順調に推移しているとのことです。そのため、日本向けの入荷量・価格ともに、引き続き大きな変化なく推移するものと見ています。
甘粛省産と同様に、9月後半から入荷が見込まれるアメリカ産についても、今シーズンは現時点まで生育が堅調で、平年並みの収穫量が見込まれているようです。
しかしながら、北海道産玉ねぎが堅調に出荷される場合には、為替や関税などの影響もあり、アメリカ産は価格面での優位性が限られるため、入荷量も限定的になることが予想されます。
当社では、国産・輸入それぞれの特長を活かしながら、お客様の用途や品質、コストに合わせた最適なご提案を行ってまいります。



北海道産地情報

7月も北海道各産地を巡回し、生育状況の確認と情報交換を行ってまいりました。
ホクレン様の最新の出回り調査によると、全道の平均反収は10アール当たり6,000kg、生産量は74万7,000トン、出荷量は71万トンが見込まれています。出荷量は、昨年比で140%を超える水準となっています。
系統取扱数量については、生食用39万5,000トン、加工用16万4,600トン、輸出用1万トンの合計約57万トンが見込まれています。
過去5か年の平均取扱数量が52万トン強であるのに対し、大凶作となった昨年は38万トン弱でした。現時点の見込みでは、昨年を約20万トン上回る数量となっています。
今年は春先から定植作業が順調に進み、生育期間を十分に確保できたことに加え、適度な降雨にも恵まれています。その結果、玉ねぎだけでなく、馬鈴薯をはじめとする畑作物全般で良好な生育状況が確認されています。
一つ懸念されるのは、7月に曇天や降雨の日がやや多かったことです。気温は北海道らしい水準で推移した印象ですが、降雨の影響により、鱗片腐敗などの病害が発生しないことを願うばかりです。
これから収穫作業が本格化します。最後まで気を抜くことはできませんが、産地の皆様からも「今年は昨年のような供給不足を避けたい」という強い思いが伝わってきています。
引き続き現地との情報共有を密に行い、最新の生育状況を皆様へお届けしてまいります。

《裏面に続く》

青果物市況（農水省・令和8年8月見通し）

農林水産省の8月見通しによると、

👉 ほうれんそう、きゅうり等の価格は平年を上回って推移する一方で、にんじんの価格は平年を下回って推移する見込み」となっています。全体として多くの品目で生育は概ね順調ですが、高温や少雨、豪雨など、地域ごとの天候差による影響も見られています。

■ 相場が弱含み（安値傾向）となる見込みの品目

にんじん：北海道産への切り替わりが順調に進み、8月前半は価格が平年を下回る見込みです。後半は平年並みに落ち着く見通しです。

■ 相場が強含み（高値傾向）となる見込みの品目

- ・ほうれんそう：作付面積の減少と高温による歩留まり低下の影響から、価格はやや平年を上回る見込みです。
- ・きゅうり：6月の低温・雨天と7月の高温の影響により出荷量が減少し、価格はやや平年を上回って推移する見込みです。
- ・はくさい：8月前半は高温・少雨の影響によりやや高値となりますが、後半は平年並みに落ち着く見通しです。
- ・トマト：8月後半は、高温による着果数減少の影響から、価格が平年を上回る見込みです。

■ 平年並みで推移する見込みの品目

だいこん、キャベツ、ねぎ、ブロッコリー、レタス、なす、ピーマン、ばれいしょ、さといも、たまねぎは、生育が概ね順調で、価格は平年並みに推移する見込みです。

8月の総評

8月は北海道産玉ねぎへの切り替えが進み、本格的な北海道シーズンが始まります。

現時点では生育状況も良好で、昨年のような極端な供給不足を心配する状況ではありません。むしろ今後の天候が安定すれば、平年を上回る収穫量も期待できる状況となっています。

一方で、葉物野菜や果菜類については、高温や天候不順の影響を受けやすく、品目によって相場に差が出る見通しです。

今後も天候の変化に十分注意しながら、産地と密接に情報共有を行い、お客様への安定供給とタイムリーな情報提供に努めてまいります。

編集後記

日頃から大変お世話になっている熊本県で、7月28日に大きな地震が発生しました。2016年の熊本地震から、ちょうど10年となる年での出来事でした。

私は熊本を訪れる際、いつも熊本城近くのホテルに宿泊し、熊本城周辺をジョギングしています。

2016年の地震で大きな被害を受けた熊本城が、時間をかけて復旧し、少しずつ再建されていく姿を見てきました。

それだけに、今回の地震によって再び石垣が崩れる映像を目にし、胸が締め付けられる思いがしました。

被災された皆様の不安や悲しみは、私には計り知れません。

今はただ、熊本の皆様の安全と、一日も早く穏やかな日常が戻ることを願っています。私自身も、今できることを考え、少しでも熊本の皆様に寄り添える行動をしてみたいと思います。

あらためまして、このたびの令和8年熊本地震により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

株式会社マルト商事 代表取締役 戸澤 周一
ホームページ：www.maruto-shoji.co.jp

8月の玉ねぎを使ったおすすめ料理

玉ねぎたっぷり半田素麺サラダ

<材料 2〜3人前>

- ・玉ねぎ中 1/2個
- ・きゅうり 1本
- ・スライスハム 6枚程
- ・半田素麺 2束
- (A)
- ・塩、胡椒 各10振り程
- ・マヨネーズ 7〜10回し程
- ・らっきょうの汁 小2
- (無ければ甘酢などでも可)

<作り方>

- 1) 玉ねぎを薄くスライス後水にさらす。
きゅうりも薄くスライス後塩揉みし水で洗い、
どちらもしっかり手で絞って水気を切っておく。
- 2) ハムを半分に切り更に幅広めの短冊型に切る。
- 3) 半田素麺を4〜5分程茹で、冷水で洗いキッチンペーパーなどでしっかり水気を取っておく。
- 4) 3)に1)と2)を投入し(A)を入れて
混ぜ合わせる。

スパゲティサラダと又違った味わいでもっちりツルツとした食感がつつい尾を引いてしまう我が家でも人気のレシピです。ツルツと食せるので暑い夏でも食べやすくサラダといっても充分メインおかずとなる一品ですよ。



♪ポイント しっかりめに塩胡椒しておくマヨネーズは控えめでもらっきょうの汁がふわっと効いて素麺を活かした味が感じられます。
味見をしながら調整してみてくださいね。素麺はしっかり滑りをもって冷水でしめるように洗う事でよりもちりツルツ食感になります。



料理研究家 長尾涼子

「家族がよろこぶごちそう」をコンセプトにレシピ開発。子育て経験を活かした、誰もが作りやすく栄養バランスのよいレシピを得意とする。